資料３

３．踏切道の改良の取組状況の確認について

■ 改良すべき踏切道 一覧

広島県（政令市除く）

No	踏切道		鉄道		道路			該当する指定基準 (踏切道改良促進法施行規則)		法指定 時期	完了 年度
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者				
1	広島県安芸郡海田町	大正通第１	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	地域課題	–	R1.12.25	
2	広島県安芸郡海田町	大正通第２	呉線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	地域課題	–	R1.12.25	
3	広島県安芸郡府中町	鹿篭	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	茂陰鹿籠線	府中町	地域課題	–	R1.12.25	
4	広島県安芸郡海田町	瀬ノ川西	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	2号線	海田町	地域課題	–	R1.12.25	
5	広島県安芸郡海田町	瀬ノ川東	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	3号線	海田町	地域課題	–	R1.12.25	
6	広島県安芸郡海田町	中店第１	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	1号線	海田町	地域課題	–	R1.12.25	
7	広島県安芸郡海田町	海田市第１	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	4号線	海田町	地域課題	–	R1.12.25	
8	広島県安芸郡府中町	青崎第10	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	青崎桃山線	府中町	歩行者ボトルネック	移動等円滑化	R1.12.25 R6.1.18	
9	広島県安芸郡海田町	新町	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	町道	1号線	海田町	開かず	–	R1.12.25	
10	広島県福山市	鶴ヶ橋	福塩線	西日本旅客鉄道(株)	県道	加茂福山線	広島県	地域課題	–	R3.4.13	
11	広島県安芸郡坂町	総頭川西	呉線	西日本旅客鉄道(株)	町道	総頭川1号線	坂町	地域課題	–	R3.4.13	
12	広島県呉市	海岸通	呉線	西日本旅客鉄道(株)	県道	呉環状線	広島県	歩道狭隘	–	–	
13	広島県廿日市市	可愛川	宮島線	広島電鉄(株)	県道	虫道廿日市線	広島県	歩道狭隘	–	–	
14	広島県廿日市市	平良	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	虫道廿日市線	広島県	歩道狭隘	–	–	
15	広島県大竹市	古新開第一	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	大竹湯来線	広島県	地域課題	–	–	
16	広島県呉市	両城第1	呉線	西日本旅客鉄道(株)	市道	三条3丁目1号線	呉市	移動等円滑化	–	R6.1.18	
17	広島県呉市	両城第5	呉線	西日本旅客鉄道(株)	市道	三条4丁目1号線	呉市	地域課題	–	R6.1.18	
18	広島県呉市	堺川	呉線	西日本旅客鉄道(株)	市道	宝町本通線	呉市	地域課題	–	R6.1.18	
19	広島県三原市	柳２	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	木原７号線	三原市	地域課題	–	R7.1.15	

■災害時の管理の方法を定めるべき踏切道 一覧

広島県（政令市除く）

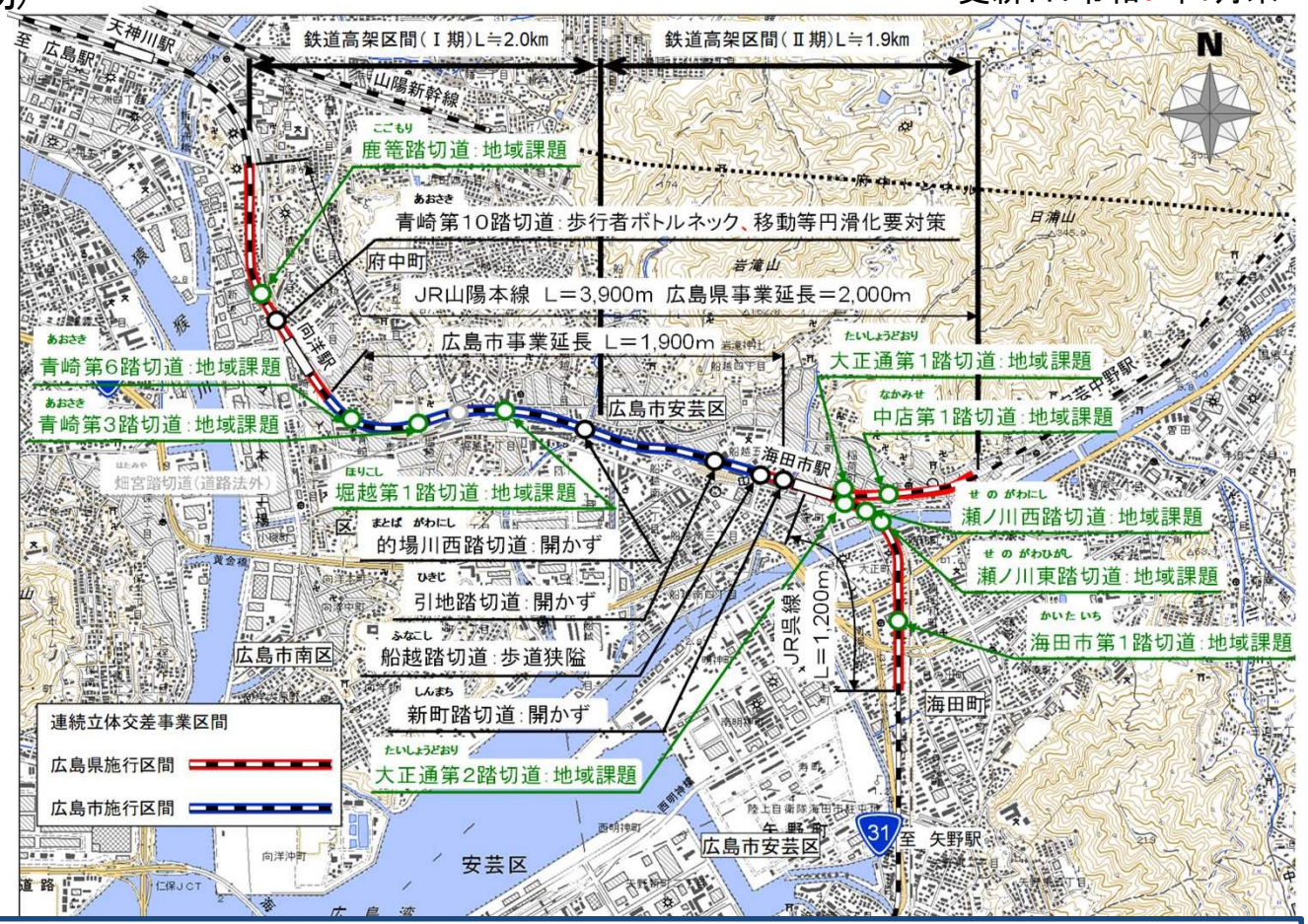
No	踏切道		鉄道		道路			法指定 時期
	位置	名称	線名	事業者	種別	路線名	管理者	
1	広島県安芸郡海田町	大正通第１	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	R3.6.30
2	広島県安芸郡海田町	大正通第２	呉線	西日本旅客鉄道(株)	県道	府中海田線	広島県	R3.6.30
3	広島県大竹市	明治新開第1	山陽線	西日本旅客鉄道(株)	市道	玖波１号線	大竹市	R5.8.23

広島市東部地区連続立体交差事業関連１０踏切道（広島市・府中町・海田町）

踏切道名	右図の10踏切道(緑文字の踏切)
鉄道事業者名	西日本旅客鉄道㈱
鉄道路線名	山陽本線 （安芸中野駅～天神川駅） 呉線（矢野駅～海田市駅）
道路管理者名	広島県、広島市 府中町及び海田町

更新日：令和7年1月末

大正通第１踏切（海田町）の渋滞状況



（踏切道の課題）

・広島都市圏東部地域に位置するJR海田市駅及び向洋駅周辺は、JR山陽本線及び呉線により地域が分断され、踏切遮断による交通渋滞が日常的に発生し、一般車両のみならず緊急自動車の通行も妨げられる状況であり、都市機能が著しく低い状態にある。このため、連続立体交差事業を実施し、鉄道を高架化することにより、市街地の一体化と都市交通の円滑化、踏切事故の解消、踏切除却による高齢者や児童等の安全・安心な移動動線の確保や利便性の向上及び緊急自動車の迅速な移動による都市防災機能の向上等が求められている。

・令和2年度に、広島県、広島市及び鉄道事業者の3者で工事協定を締結し工事着手した。

・令和3年度から鉄道高架Ⅰ期区間において仮線路工事に着手し、令和6年度も引き続き仮線路工事等を実施している。

（鉄道事業者との協議状況）

・R1.9　都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する細目要綱第4条に係る協議の実施

・R2.6　工事協定締結

・R2.12　踏切道改良計画書を提出

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	あおさきだい10	所在地	広島県安芸郡府中町青崎南5566-4		
踏切道名	青崎第10	道路名	町道青崎桃山線	道路管理者名	府中町
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

府中町都市計画図

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)		41.5		左道路	1.5	6.5	2.0
横断本数(本)		4		踏切道	0.0	5.8	4.2
交差角(度)		78		右道路	1.5	6.5	2.0
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	曲線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		大型車の通行禁止		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-	
歩車道分離方法		コンクリートブロック		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	4,517	歩行者等交通量(人/日)	4,502	鉄道交通量(本/日)	372

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	38	前後歩道との幅員差(m)	-1.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	31,167	AとBの和	62,231		踏切事故	0	0	踏切を含む歩道の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	31,064				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	○	-	-	-	○

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R1.12.25（旧法）	第2条第2号 （歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切） R1.12.25（旧法）	第2条第11号 （移動等円滑化要対策踏切） R6.1.18（現法）	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
事業中	○	R2	H13	R2

対策内容

・連続立体交差（H13～）
・全方位型警報灯（H27）
・遮断不良検出器（H26）

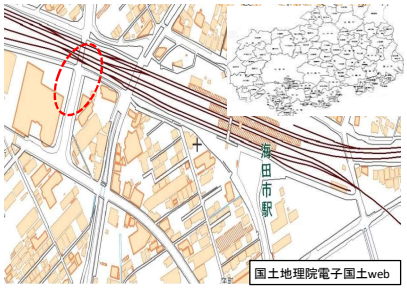
事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	しんまち	所在地	広島県安芸郡海田町新町2204-7		
踏切道名	新町	道路名	町道1号線	道路管理者名	海田町
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真



諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)	36		左道路	1.3	6.6	1.3
横断本数(本)	6		踏切道	1.4	6.3	1.5
交差角(度)	65		右道路	1.3	6.6	1.3
道路線形 左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
道路線形 右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制	交通規制なし		歩行者	駅構内自由通路	150	
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-	
歩車道分離方法	コンクリートブロック		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	1,419	歩行者等交通量(人/日)	956	鉄道交通量(本/日)	373

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	45	前後歩道との幅員差(m)	1.4	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	13,906	AとBの和	23,275		踏切事故	0	0		
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	9,369				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
○	-	-	-	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R1.12.25（旧法）	第2条第3号（開かずの踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
事業中	○	R2	H13	-

対策内容

・連続立体交差（H13～）
・遮断不良検出器（H26）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

鶴ヶ橋踏切道（広島県福山市）

更新日：令和7年1月末

踏切道名	鶴ヶ橋踏切道
鉄道事業者名	西日本旅客鉄道
鉄道路線名	福塩線（神辺～横尾）
道路名	県道加茂福山線
道路管理者名	広島県

【参考】
自動車交通量　15,525台／日
歩行者交通量　332人／日

（踏切道の課題）
・当該路線は、備後都市圏北部と福山市中心部を結ぶ幹線道路であり、国道182号を補完する道路に位置付けられている。しかしながら、国道313号と交差する鶴ヶ橋南詰交差点は、隣接してJR福塩線の踏切があることから、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生しており、「広島県の主要渋滞箇所」に位置づけられ地域の大きな課題となっている。
　また、踏切部や周辺道路には歩道が整備されておらず、走行空間が確保されていないため事故も発生している。
これらの課題を解決し円滑な交通と歩行者の安全を確保するために、JR福塩線との立体交差化について、早急に対応する必要がある。
・平成30年度までに事業区間全ての用地を買収。
・令和6年度は、橋梁下部工、補強土壁及び函渠工の工事を実施。

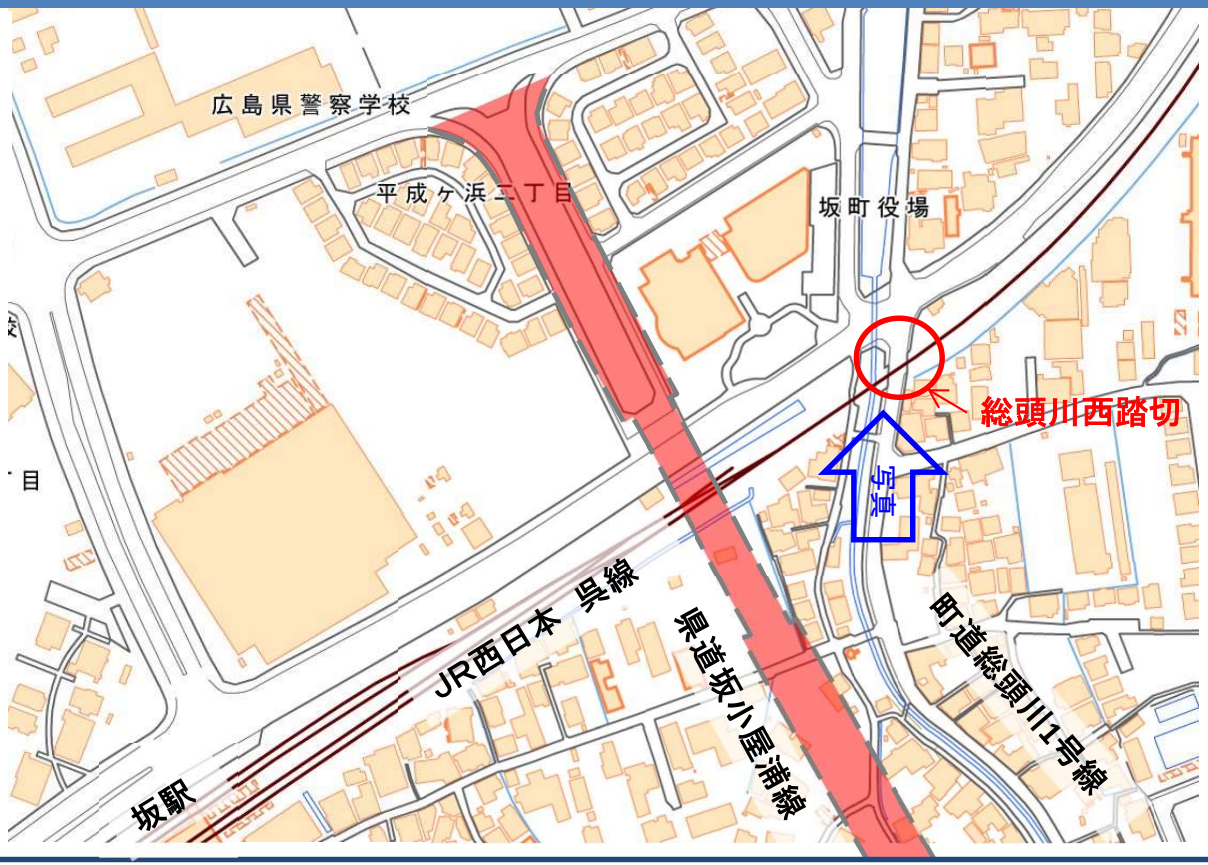
（鉄道事業者との協議状況）
・H16.3　立体交差構造に関する事前協議
・R2.12　地方踏切改良計画書を国土交通大臣に提出

総頭川西踏切道（広島県坂町）

更新日：令和7年1月末

踏切道名	総頭川西踏切道
鉄道事業者名	西日本旅客鉄道
鉄道路線名	呉線（矢野～坂）
道路名	町道総頭川1号線
道路管理者名	坂町

【参考】
自動車交通量　5,589台／日
歩行者交通量　72人／日



（踏切道の課題）
・広島都市圏の発展とともに市街化が進展した当該地域は、主要な幹線道路である国道31号へのアクセス道がJR呉線によって1箇所しかないことにより、交通が集中し、国道31号の渋滞や、踏切と国道31号の距離がほとんど無いといった構造から、朝夕には当該踏切部を中心に慢性的な渋滞が発生しており、更には、地域住民の日常生活に支障をきたしている。また、走行空間が十分に確保されていないことから、踏切部での事故も発生している。
当該地域の更なる発展を目的として「坂町都市計画マスタープラン」に基づき街づくりの根幹として県道坂小屋浦線の整備を推進し、また、平成26年に策定した通学路交通安全プログラムにも位置づけられていることから、その緊急性・重要性は、より一層高まっており、JR呉線との立体交差化について早急に取り組む必要性がある。
・令和6年度は、U型擁壁及び橋梁下部工事を実施。また、鉄道事業者と県道坂小屋浦線跨線橋上部工工事の協定を締結。

（鉄道事業者との協議状況）
・H20.3　立体交差構造に関する事前協議
・H29.11～　跨線橋詳細設計に関する事前協議
・R2.12　踏切道改良計画書を国土交通省へ提出
・R3.3～　跨線橋下部工の工事着手
・R6.10　鉄道事業者と跨線橋上部工工事の協定締結

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	かいがんどおり	所在地	広島県呉市阿賀中央8丁目5746-45		
踏切道名	海岸通	道路名	主要地方道呉環状線	道路管理者名	広島県
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

広域

国土地理院電子国土web

現況

安芸阿賀駅方面（手前）から呉駅方面に向かって撮影

起点側（南）から終点側（北）に向かって撮影

終点側（北）から起点側（南）に向かって撮影

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部（起点寄）	車道	歩道部（終点寄）
踏切長(m)		6		左道路	2.8	9.0	1.8
横断本数(本)		1		踏切道	0.0	9.0	0.0
交差角(度)		90		右道路	1.5	8.2	1.8
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし（200m以内）	-	
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし（200m以内）	-	
歩車道分離方法		なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況（学校指定）	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量（台/日）	8,304	歩行者等交通量（人/日）	385	鉄道交通量（本/日）	115

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	-3.7	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	19,099	AとBの和	19,985		踏切事故	0	0	-
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	886				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	○	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・遮断不良検出器（H29）
・踏切道における道路拡幅等(検討中)

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	かわいがわ	所在地	広島県廿日市市可愛		
踏切道名	可愛川	道路名	一般県道虫道廿日市線	道路管理者名	広島県
		鉄道路線名	宮島線	鉄道事業者名	広島電鉄

位置図・現況写真

詳細

広域

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)		8.4		左道路	0.0	7.0	1.0
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.0	0.0
交差角(度)		90		右道路	0.0	6.5	1.1
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-	
歩車道分離方法		なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	2,750	歩行者等交通量(人/日)	378	鉄道交通量(本/日)	280

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	23	前後歩道との幅員差(m)	-1.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	10,549	AとBの和	12,000		踏切事故	0	0		
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,451				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	○	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・踏切道迂回のための歩道橋設置等(検討中)

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	へら	所在地	広島県廿日市市下平良1191-7		
踏切道名	平良	道路名	一般県道虫道廿日市線	道路管理者名	広島県
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細　　広域

国土地理院電子国土web

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)	10.3		左道路	0.0	7.5	1.1
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	6.0	0.0
交差角(度)	60		右道路	0.0	6.4	1.0

道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化	迂回路なし(200m以内)	-
歩車道分離方法		なし		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	3,560	歩行者等交通量(人/日)	306	鉄道交通量(本/日)	226

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	27	前後歩道との幅員差(m)	-1.1	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	-
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	22,784	AとBの和	24,742		踏切事故	0	0		
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	1,958				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	○	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・踏切道迂回のための歩道橋設置等(検討中)

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

古新開第一踏切道（広島県大竹市）

更新日：令和7年1月末

踏切道名	古新開第一踏切道
鉄道事業者名	西日本旅客鉄道
鉄道路線名	山陽本線
道路名	県道大竹湯来線
道路管理者名	広島県

○踏切長：9.0m　　○踏切幅員 ：6.0m（車道6.0m）
○自動車交通量：3,673台／日
○歩行者交通量：183人／日　　○軽車両交通量：130台／日
○列車本数：236本／日　　○踏切遮断時間：22分（1時間最大）

位置図

現況写真

（踏切道の課題）
・当該路線は、国道2号から大竹市の市街地を経由し、広島市湯来町を連絡する主要な幹線道路である。
・踏切部を含めた当該区間は、車道が狭隘で歩道が無く、円滑な交通に支障をきたし、歩行者と自動車による事故も発生している。特に踏切部においては、歩行者が線路敷にはみ出して通行するなど、危険な状況にさらされており、早急な対策が必要である。
・「大竹市都市計画マスタープラン」に基づき、大竹市ではまちづくりの一環として玖波駅の周辺開発が進められている中で、当該路線・踏切の改良は地域のまちづくりの根幹となる極めて重要な地域課題として位置付けられている。
・通学路交通安全プログラムにも位置付けられており、対策の緊急性、重要性が高い。
・令和6年度は、関係機関との協議・調整を実施。

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	りょうじょうだい1	所在地	広島県呉市西二河通3丁目3-1		
踏切道名	両城第1	道路名	市道三条3丁目1号線	道路管理者名	呉市
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部（起点寄）	車道	歩道部（終点寄）
踏切長(m)	7		左道路	3.5	8.0	3.5
横断本数(本)	1		踏切道	3.5	8.0	3.4
交差角(度)	58		右道路	3.5	8.0	3.5

道路線形		迂回路	種類	有無等	距離(m)
	左道路 直線		自動車	両方共なし	-
	右道路 直線		歩行者	迂回路なし（200m以内）	-
交通規制	交通規制なし		ﾊﾞﾘｱﾌﾘ化	迂回路なし（200m以内）	-
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘｱﾌﾘ化状況	-	DID地区 ○
歩車道分離方法	コンクリートブロック				

踏切保安設備				
	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置 障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況（学校指定）	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量（台/日）	4,681	歩行者等交通量（人/日）	1,410	鉄道交通量（本/日）	116

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	-0.1
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	8,894	AとBの和	11,573
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,679		

踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数
	踏切事故	0	0
	道路交通事故	0	0

地域課題：踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	○

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第11号（移動等円滑化要対策踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
検討中	○	-	-	-

対策内容

・踏切道内誘導表示の設置等（検討中）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	りょうじょうだい5	所在地	広島県呉市三条通2丁目28-2		
踏切道名	両城第5	道路名	市道三条4丁目1号線	道路管理者名	呉市
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部（起点寄）	車道	歩道部（終点寄）
踏切長(m)	8		左道路	2.6	4.0	3.9
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	10.2	0.0
交差角(度)	50		右道路	2.5	5.0	3.0

道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-
交通規制		その他の交通規制（一方通行）		歩行者	迂回路なし（200m以内）	-
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし（200m以内）	-
歩車道分離方法		なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置（手動）	○
	高規格保安設備	障害物検知装置	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況（学校指定）	○	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量（台/日）	1,466	歩行者等交通量（人/日）	2,398	鉄道交通量（本/日）	116

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	13	前後歩道との幅員差(m)	-3.9	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	4,252	AとBの和	11,206		踏切事故	0	0	踏切を含む歩道の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	6,954				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	○

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・踏切道におけるバリアフリー対策（検討中）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

地域課題踏切カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	さかいがわ	所在地	広島県呉市宝町10-3		
踏切道名	堺川	道路名	市道宝町本通線	道路管理者名	呉市
		鉄道路線名	呉線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部（起点寄）	車道	歩道部（終点寄）
踏切長(m)	17.8		左道路	2.4	6.6	0.0
横断本数(本)	1		踏切道	2.4	6.7	0.0
交差角(度)	90		右道路	2.4	6.6	0.0

道路線形		迂回路	種類	有無等	距離(m)
	左道路 直線		自動車	両方共なし	-
	右道路 直線		歩行者	架道橋（と交差する道路）	10
交通規制	交通規制なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし（200m以内）	-
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区 ○
歩車道分離方法	コンクリートブロック				

踏切保安設備				
	賢い踏切	-	踏切支障報知装置（手動）	○
	高規格保安設備	障害物検知装置（ループコイル式）	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況（学校指定）	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量（台/日）	659	歩行者等交通量（人/日）	722	鉄道交通量（本/日）	115

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	11	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切を含む歩道の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	1,977	AとBの和	4,143		踏切事故	0	0		
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	2,166				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
検討中	-	-	-	-

対策内容

・踏切道におけるバリアフリー対策（検討中）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

鉄道事業者	西日本旅客鉄道株式会社　代表取締役社長　長谷川一明			
道路管理者	三原市長　岡田吉弘			
踏切道 名称	柳2（やなぎに）	鉄道線数	2線	
踏切道 位置	広島県三原市木原三丁目1-20地先　（　尾道駅～　糸崎駅　神戸起点　226k　852m）			
踏切道 鉄道の線区名	山陽線			
踏切道 道路の路線名	市道木原7号線	道路種別	市町村道	

改良すべき踏切道の指定に係る基準該当事項

指定要因基準該当(○)	現況						
一号	踏切自動車交通遮断量(台･時/日)						
二号	踏切歩行者等交通遮断量(人･時/日)						
	踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和(台人･時/日)						
三号	一時間の踏切遮断時間(分/時)						
四号・五号	幅員(m)		全幅	車道	歩道 起点寄	歩道 終点寄	
		踏切道					
		左道路					
		右道路					
	幅員差(m)	(踏切道－左道路)					
		(踏切道－右道路)					
	自動車交通量(台/日)						
	歩行者交通量(人/日)						
	通学路指定の有無						

指定要因基準該当(○)	現況
六号	踏切遮断機が設置されていないもの
七号	踏切支障報知装置が設置されていないもの
八号	直近５年間において２回以上の事故が発生したもの
九号	通学路に該当するものであって幼児、児童、生徒又は学生の通行の安全を特に確保する必要があるもの
十号	付近に老人福祉施設、障害者支援施設その他これらに類する施設があるものであって、バリアフリー法に基づく高齢者、障害者等の通行の安全を特に確保する必要があるもの
十一号	鉄道とバリアフリー法に基づく特定道路とが交差しているもの
十二号	前各号に掲げるもののほか、踏切道における交通量、事故の発生状況、踏切道の構造、地域の実情その他の事情を考慮して、踏切道の改良による事故の防止又は交通の円滑化の必要性が特に高いと認められるもの

踏切道種別	第１種	法指定日	令和7年1月15日

改良計画の概要

改良の方法（特定改良）	工事の概要（対策内容等）	事業主体	事業費（百万円） 総額	内訳 工事費	内訳 用地費補償費	内訳 その他	工期（年度） 工事着手予定（令和）	工期（年度） 工事完了予定（令和）
踏切道密接関連道路の改良	単独立体交差	三原市	1,470	1,400	40	30	R7	R13
踏切道の通行規制強化	車両通行規制	三原市	3	3			R14	R14

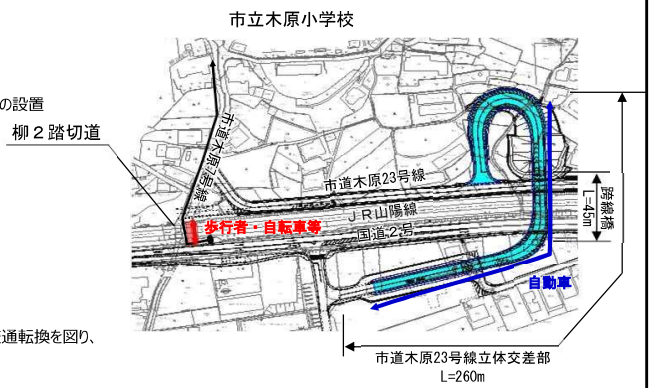
踏切道の改良と一体となってその効果を十分に発揮させるための事業（道路協力団体等の取り組みも含む） 事業の内容	事業主体	事業費（百万円）	事業期間（年度） 事業着手予定（令和）	事業期間（年度） 事業完了予定（令和）

工事の概要（改良の具体的内容）

【通行規制】
市道木原７号線
（事業主体：三原市）
W=2.8m
道路交通法第２条に規定する自動車の通行規制：ボラード（車止め）の設置

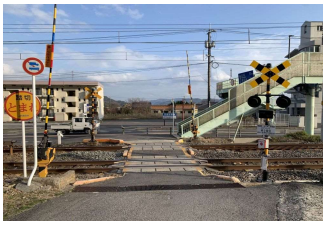
【踏切道密接関連道路の改良】
市道木原２３号線
（事業主体：三原市）
延長=260m
幅員=7.0m（車道部7.0m、歩道部無）
JR交差部　跨線橋　L=45m

【事業目的】
密接に関連する市道木原２３号線の整備を行うことで、当該踏切道の交通転換を図り、事故の防止又は交通の円滑化に寄与する。

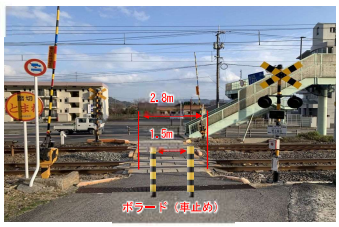


現状と対策

現状



対策



大正通第1踏切（広島県海田町）

鉄道事業者名　西日本旅客鉄道
鉄道路線名　山陽線
道路管理者名　広島県
道路名　一般県道府中海田線

＊緊急輸送道路（第２次）
ＤＩＤ地区内
立体交差を通る迂回　59分増
ピーク時列車運行回数　17回/時間
自動車交通量　3,353台/日

【該当する指定基準】
施行規則第十三条第1号
（緊急輸送道路等）

凡例
- 通常の通行ルート
- 大正通第1踏切通行止め時の想定ルート
- 緊急輸送道路等

大正通第2踏切（広島県海田町）

鉄道事業者名　西日本旅客鉄道
鉄道路線名　呉線
道路管理者名　広島県
道路名　一般県道府中海田線

＊緊急輸送道路（第２次）
ＤＩＤ地区内
立体交差を通る迂回　59分増
ピーク時列車運行回数　10回/時間
自動車交通量　4,203台/日

【該当する指定基準】
施行規則第十三条第1号
（緊急輸送道路等）

凡例
- 通常の通行ルート
- 大正通第2踏切通行止め時の想定ルート
- 緊急輸送道路等

明治新開第１踏切（広島県大竹市）

鉄道事業者名	西日本旅客鉄道
鉄道路線名	山陽線
道路管理者名	大竹市
道路名	市道玖波1号線

ＤＩＤ地区内
立体交差を通る迂回　13分増
ピーク時列車運行回数　14回/時間
自動車交通量　2139台/日

【該当する指定基準】
施行規則第十三条第1号
（緊急輸送道路等）

凡例
- 通常の通行ルート
- 明治新開第１踏切通行止め時の想定ルート
- 緊急輸送道路等

中山踏切道（広島県広島市）

更新日：令和7年1月末

踏切道名　　：中山踏切道
鉄道事業者名：西日本旅客鉄道
鉄道路線名　：芸備線（戸坂～矢賀）
道路名　　：県道府中祇園線
道路管理者名：広島市

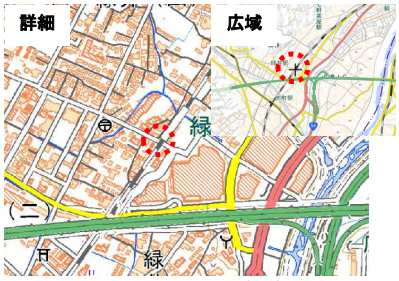
■現状
・令和6年6月6日にJR芸備線中山踏切の立体交差部（アンダーパス）が開通　※踏切道は廃止
・引き続き周辺側道部の工事を実施中
■改良後の課題
・戸坂方面⇔温品・府中方面の移動において、アンダーパス経由ルートの利用が少なく、中山小学校横の生活道路の交通量増加による速度低下が懸念
■今後の計画
・周辺の交通量調査を実施中
・調査結果を踏まえ、県警と連携して、信号機の連動や現示調整等により、渋滞緩和策を実施

地域課題踏切カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	びしゃもん	所在地	広島県広島市安佐南区佐東町緑井二丁目3704-3		
踏切道名	毘沙門	道路名	市道安佐南1区194号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)		14.8		左道路	0.0	6.0	0.0
横断本数(本)		2		踏切道	0.0	6.3	0.0
交差角(度)		82		右道路	0.0	6.0	0.0
道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制		交通規制なし		歩行者	その他	140	
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-	
歩車道分離方法		なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置（光式）	高齢者等の事故防止対策設備	連接軌道化注意看板
特性	通学路指定状況（学校指定）	○	通学路交通安全プログラム	○
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量（台/日）	7,504	歩行者等交通量（人/日）	2,695	鉄道交通量（本/日）	141

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	22	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	35,269	AとBの和	47,936		踏切事故	0	0	多くの自転車、歩行者が通行し、近隣小学校の通学路に指定されているにも関わらず、踏切の幅員が狭く、歩道が設置されていないため安全・円滑な通行に支障をきたしている。
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	12,667				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

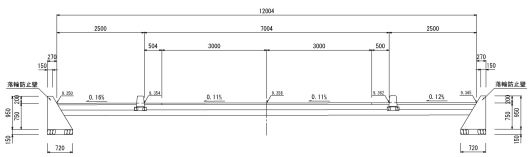
開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R3.4.13（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真



対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
事業中	○	-	R1	R6

対策内容

・構造改良（歩道整備）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	あしだや	所在地	広島県広島市安佐南区長束4丁目1145-1		
踏切道名	芦田屋	道路名	市道安佐南3区391号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
踏切長(m)	8		左道路	0.0	4.0	0.0	
横断本数(本)	2		踏切道	0.0	4.0	0.0	
交差角(度)	85		右道路	0.0	4.0	0.0	
道路線形 左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
道路線形 右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制	その他の交通規制		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法	なし		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化状況	-	DID地区	○	

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(3次元ﾚｰｻﾞｰﾚｰﾀﾞ式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	○	通学路交通安全プログラム	○
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	2,353	歩行者等交通量(人/日)	5,555	鉄道交通量(本/日)	152

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	20	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	9,177	AとBの和	30,842		踏切事故	0	0	多くの自転車、歩行者が通行し、近隣小学校の通学路に指定されているにも関わらず、踏切の幅員が狭く、歩道が設置されていないため安全・円滑な通行に支障をきたしている。
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	21,665				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

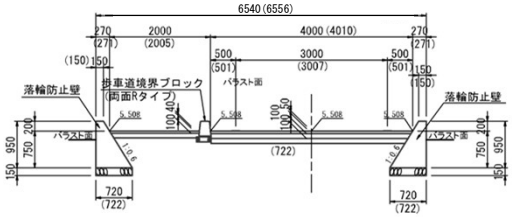
開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	○	-	○

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R3.4.13（現法）	第2条第11号（移動等円滑化要対策踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真



対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
事業中	○	-	R3	-

対策内容

・障害物検知装置（H24）
・遮断不良検出器（H24）
・警報灯全方位化（R2）
・構造改良（歩道（歩行空間）整備）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	あたご	所在地	広島県広島市東区愛宕町		
踏切道名	愛宕	道路名	県道広島中島線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

詳細

国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)		45		左道路	2.0	6.8	1.7
横断本数(本)		6		踏切道	2.1	6.5	2.2
交差角(度)		50		右道路	2.0	7.0	3.0
道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)	
	右道路	直線		自動車	起点寄有り	300	
交通規制		交通規制なし		歩行者	跨線橋	10	
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化	跨線橋	10	
歩車道分離方法		コンクリートブロック		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化状況	両側にスロープ	DID地区	○

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	オーバーハング型警報装置	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況（学校指定）	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	緊3次

自動車交通量（台/日）	2,240	歩行者等交通量（人/日）	5,484	鉄道交通量（本/日）	457

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	52	前後歩道との幅員差(m)	-0.8	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	34,496	AとBの和	118,950		踏切事故	0	0	踏切内または立体横断施設への誘導表示が未整備であり、視覚障害者の安全な通行に支障をきたしている。（R6年1月末時点）
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	84,454				道路交通事故	1	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
○	-	○	-	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・歩行者横断立体整備済み（H15）
・全方位型警報灯(H26)
・踏切道迂回のための立体横断施設への視覚障害者誘導用ブロックの整備（検討中）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	こいほんまち	所在地	広島県広島市西区己斐1丁目356-6		
踏切道名	己斐本町	道路名	市道西3区93号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
踏切長(m)	20.5		左道路	0.0	6.0	0.0	
横断本数(本)	3		踏切道	0.0	6.5	0.0	
交差角(度)	72		右道路	0.0	6.0	0.0	
道路線形 左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
道路線形 右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法	なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○	

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	○	通学路交通安全プログラム	○
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	2,117	歩行者等交通量(人/日)	3,432	鉄道交通量(本/日)	241

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	31	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	13,761	AとBの和	36,069		踏切事故	0	0	西広島駅の北側は区画整理事業が事業中、南側は再開発事業が計画されていることに加え、アストラムラインの延伸に伴い己斐中央線の整備も予定されており、踏切の通行量の増大が予想される。
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	22,308				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	○	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・踏切カメラ設置（H29）
・全方位型警報灯(H23)
・遮断不良検出器(H26)

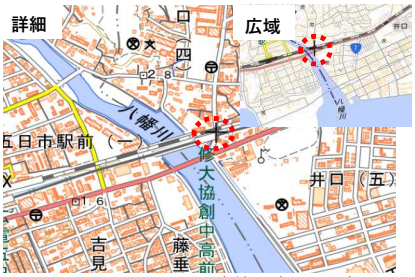
事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	すずがみね	所在地	広島県広島市西区井の口3丁目589-2		
踏切道名	鈴ケ峰	道路名	市道西5区57号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	山陽線/宮島線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道/広島電鉄

位置図・現況写真



現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別		第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
踏切長(m)		21.4		左道路	0.0	7.0	3.5	
横断本数(本)		4		踏切道	0.0	8.0	4.5	
交差角(度)		75		右道路	1.0	7.0	3.5	
道路線形	左道路	曲線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法		コンクリートブロック		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○	

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	連接軌道化 注意看板
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	4,709	歩行者等交通量(人/日)	6,879	鉄道交通量(本/日)	240

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	22	前後歩道との幅員差(m)	-1.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	23,545	AとBの和	57,940		踏切事故	1	0	広島電鉄とJR線が隣接しており、広電の駅がある事と、後背地の住宅地から、幹線道路である国道2号への出入口となっており、踏切と国道2号の交差点までの距離が短いことから激しい渋滞が起こっている。
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	34,395				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	○	-	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・踏切道の拡幅（H20）・踏切カメラ設置（H29）
・警報灯全方位化（H28）
・広島電鉄との警報灯・スピーカーの共有化（H28）
・修大付属鈴峯前（上り）に回転灯等注意喚起設備設置（H28）
・修大協創中高前（上り）に通路遮断機設置（R1）
・事故防止啓発活動

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	たかみや	所在地	広島県広島市安佐北区亀山2丁目		
踏切道名	高宮	道路名	市道安佐北3区122号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)	6		左道路	1.3	6.5	1.3
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	9.0	0.0
交差角(度)	89		右道路	1.3	6.5	1.3

道路線形	左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)
	右道路	直線		自動車	両方共なし	-
交通規制		交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-
車両進入防護柵等		設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-
歩車道分離方法		コンクリートブロック		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	-

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	障害物検知装置(3次元ﾚｰｻﾞｰﾚｰﾀﾞ式)	高齢者等の事故防止対策設備	-
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-

自動車交通量(台/日)	0	歩行者等交通量(人/日)	0	鉄道交通量(本/日)	99

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	9	前後歩道との幅員差(m)	-1.3	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	0	AとBの和	0		踏切事故	0	0	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている（R6年1月末時点）
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	0				道路交通事故	0	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	○

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・警報灯全方位化（H28）
・踏切道内誘導表示の設置等（検討中）

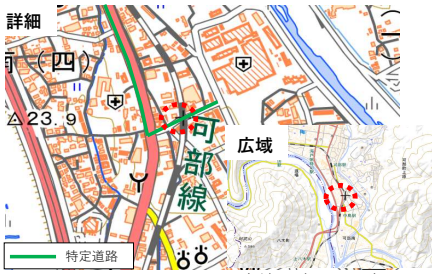
事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	たけだがくえん	所在地	広島県広島市安佐北区可部南3丁目215-1		
踏切道名	武田学園	道路名	市道安佐北3区19号線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	可部線	鉄道事業者名	西日本旅客鉄道

位置図・現況写真



国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)
踏切長(m)	6		左道路	0.0	8.0	0.0
横断本数(本)	1		踏切道	0.0	8.0	0.0
交差角(度)	63		右道路	0.0	8.0	0.0

道路線形			迂回路			
左道路	曲線		種類	有無等	距離(m)	
右道路	直線		自動車	両方共なし	-	
交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-	
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-	
歩車道分離方法	なし		ﾊﾞﾘﾌﾘ化状況	-	DID地区	○

踏切保安設備				
賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○	
高規格保安設備	障害物検知装置(光式)	高齢者等の事故防止対策設備	-	
特性				
通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-	
バリアフリー法に基づく特定道路上	○	緊急輸送道路上重要物流道路上	-	

自動車交通量(台/日)	5,804	歩行者等交通量(人/日)	3,640	鉄道交通量(本/日)	99

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	8	前後歩道との幅員差(m)	0.0	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題	踏切内の誘導表示が未整備であり、視覚障がい者の安全な通行に支障をきたしている（R6年1月末時点）
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	12,189	AとBの和	19,833		踏切事故	0	0		
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	7,644				道路交通事故	0	0		

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	-	-	-	-	○

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
R6.1.18（現法）	第2条第12号（地域課題踏切）	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・警報灯全方位化（R1）
・踏切道内誘導表示の設置等（検討中）

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	

踏切道安全通行カルテ

更新日：令和7年1月末

よみがな	すみのはま	所在地	広島県広島市佐伯区隅の浜		
踏切道名	隅之浜	道路名	主要地方道五日市筒賀線	道路管理者名	広島市
		鉄道路線名	宮島線	鉄道事業者名	広島電鉄

位置図・現況写真

国土地理院電子国土web

現況

諸元・構造等

R3年9月末時点

踏切種別	第1種	幅員(m)	位置	歩道部(起点寄)	車道	歩道部(終点寄)	
踏切長(m)	10.5		左道路	1.0	10.0	1.4	
横断本数(本)	2		踏切道	1.5	9.9	2.5	
交差角(度)	80		右道路	1.0	9.5	1.5	
道路線形 左道路	直線	迂回路	種類	有無等	距離(m)		
道路線形 右道路	直線		自動車	両方共なし	-		
交通規制	交通規制なし		歩行者	迂回路なし(200m以内)	-		
車両進入防護柵等	設置していない		ﾊﾞﾘｱﾌﾘ化	迂回路なし(200m以内)	-		
歩車道分離方法	コンクリートブロック		ﾊﾞﾘｱﾌﾘ化状況	-	DID地区	○	

踏切保安設備	賢い踏切	-	踏切支障報知装置(手動)	○
	高規格保安設備	-	高齢者等の事故防止対策設備	連接軌道化 注意看板
特性	通学路指定状況(学校指定)	-	通学路交通安全プログラム	-
	バリアフリー法に基づく特定道路上	-	緊急輸送道路上重要物流道路上	緊2次

自動車交通量(台/日)	9,727	歩行者等交通量(人/日)	4,450	鉄道交通量(本/日)	290

基準算定データ

R3年9月末時点

ピーク時遮断時間(分)	25	前後歩道との幅員差(m)	0.5	踏切内の事故発生状況	事故別	件数	死者数	地域課題
A.踏切自動車交通遮断量(台・時)	43,772	AとBの和	63,797		踏切事故	0	0	当踏切は、県道から幹線道路（国道2号）への出入り口を担っている。
B.踏切歩行者等交通遮断量(人・時)	20,025				道路交通事故	1	0	

カルテ踏切の基準

R3年9月末時点

開かずの踏切	自動車ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩行者ﾎﾞﾄﾙﾈｯｸ踏切	歩道狭隘踏切	通学路要対策踏切	事故多発踏切	移動等円滑化要対策踏切
-	-	○	-	-	-	-

法指定の状況

R7年1月末時点

法指定年月日	指定に係る基準（踏切道改良促進法施行規則）				
-	-	-	-	-	-

対策図・完了写真

対策実施の状況

R7年1月末時点

進捗	協議会の設置状況	改良計画書の作成年度	事業化年度	工事着手年度
指定前	○	-	-	-

対策内容

・事故防止啓発活動
・都市計画道路畑口寺田線(4工区)整備事業完了［廿日市市］(R3.12)

事業完了年度	対策の効果等
-	-
除却年度	
-	